

土砂災害に備えて

安心安全な暮らしのために



これから梅雨前線や台風との接近に伴い、土砂災害の発生する危険が高まるシーズンを迎えます。いざというときに備え、普段から防災用品の準備や点検、家族間の連絡方法や集合場所の確認、自宅付近の危険箇所や避難場所・避難所までの経路を確認しておきましょう。

☑土砂災害の形態とその前兆現象

象：土砂災害の発生にはいくつかの特徴的な前兆現象があります。

◆土石流

長雨や集中豪雨などにより、山や川の石や土砂が、水と一体となつて一気に下流へ流れる現象です。その流れ下るスピードは時速20キロから40キロといわれ、自動車が進む速度とほぼ同じです。



▲土石流のようす

▼直前：土臭いにおい、地鳴り、流水の急激な濁り、溪流の水位の激減

▼1～2時間前：溪流内で転石

の音、流木発生

▼2～3時間前：流水の異常な濁り

◆がけ崩れ

長雨や集中豪雨などで、斜面が急に崩れ落ちる現象です。

▼直前：湧水の停止や吹き出し、亀裂の発生、斜面のはらみだし、大量の小石の落下、地鳴り

▼1～2時間前：小石の落下、新たな湧水の発生や濁り

▼2～3時間前：湧水量の増加、表面流の発生

☑土砂災害ハザードマップ

市では、岐阜県より指定された土砂災害警戒区域等について、自治会ごとにワークシヨツプを行い、過去に発生した土砂災害に関する事例や避難場所等を記載した土砂災害ハザードマップを作成、各家庭に配布していますので、自宅付近の危険箇所や避難場所、避難所まで経路

等をご確認ください。土砂災害ハザードマップは市ホームページでも確認できます。

☑土砂災害警戒情報とは

大雨による土砂災害発生危険度を、降雨量に基づいて判定し、岐阜県と岐阜地方気象台が共同で発表する防災情報で、大雨警報（土砂災害）が発表されている状態で土砂災害発生危険度が高まった時に発表されます。土砂災害警戒情報が発表されると、テレビやラジオなどで周知されるほか、市防災行政無線及び音声告知放送により対象となる地域に対し避難勧告を発令します。

土砂災害警戒情報が発令されたら、危険が迫っていることを十分認識し、テレビ、インターネットなどで情報の収集に努め、安全な場所への避難を行うなど生命の安全の確保に努めてください。また、降雨の状況などから危険を感じた時は、土砂災害警戒区域等の外にある避難場所へ早めの避難を心掛けてください。避難することが困難な場合には、谷筋から離れた建物や頑丈な建物の上階に避難するか、山と反対側の建物の二階以上に屋内避難しましょう。

☑資料提供：NPO法人土砂災害防止広報センター

～郡上市防災士会が設立され、活動を開始！～

防災士とは、自助、共助の精神のもと、家庭、地域、職場における地域防災力（地域の総合的な力により災害に備えること）の向上のための活躍が期待され、そのための専門的な知識・技能を修得したことをNPO法人日本防災士機構によって認証された人です。

災害による被害を最小限にするためには、まず自分の命は自分で守る「自助」が基礎となります。そして、災害の規模が大きいほど、公的な救援活動はすぐには行き届かないことも多く、地域・職場で助け合い、被害拡大を防ぐ「共助」が必要となります。防災士は、発災直後から地域、職場における救助・応急活動の中核となることが期待されますが、防災士一人としての活動には限界があります。そこで、日頃から各防災士が相互に顔の見える関係を構築し、行政や防災関連団体と組織的な連携を図ることができれば、地域防災力の一層の強化につながることを期待されます。

こうした考え方を踏まえ、市内の防災士の方から防災士組織の設立に向けた気運が高まり、平成28年1月28日開催の設立準備会を皮切りに協議を重ね、平成28年3月16日、「地域防災コミュニティ（市民、事業所、行政などが協力し合って防災活動に取り組む地域社会）」の実現に貢献することを目的として、郡上市防災士会が設立されました。また、4月27日開催の平成28年度総会において、事業計画等を決定し、活動を開始しました。

あなたも、郡上市防災士会の一員として、防災・減災に関する知識・技術の向上と、地域防災コミュニティの実現をめざしませんか。

◆**会員資格**…郡上市防災士会の目的に賛同し、市内に居住または勤務する防災士資格取得者、もしくは郡上市防災士会の目的に賛同し、市内に居住または勤務する防災士資格を持たない個人及び事業所

◆**問い合わせ先（申し込み先）**…総務部総務課（郡上市防災士会事務局）

☎67-1832

